



埼玉県マスコット
「さいたまっち」



埼玉県マスコット
「コバトン」

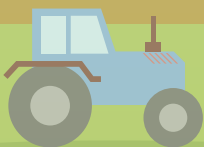
2016年

埼玉の

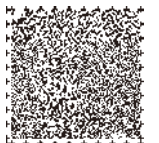
食料・農林業・農山村



音声コード (SPコード)



彩の国
埼玉県



活字文書読み上げ装置で、情報を音声で聞く事ができます。



本県は温暖な気候や、利根川、荒川などの「水の利」、首都圏 4300 万人のマーケットの中にある産地という「地の利」など恵まれたバックグラウンドを生かし、産出額が全国第 5 位の花き、全国第 6 位の野菜をはじめ、米、麦、果樹、畜産など多彩な農産物が生産されています。また、県土の 3 分の 1 を占める森林は木材を供給するだけでなく、水源の涵養、二酸化炭素の吸収・貯蔵などにも大きな役割を果たしています。

農林業・農山村は、食品産業や観光業などと結びつき、地域の経済や県民生活に活力をもたらすなど重要な役割も担っています。また、県土の保全や水源涵養などを通じて県民生活の安心を築くとともに、美しい風景や伝統文化の維持・形成などを通じて県民の豊かな暮らしにも寄与しています。

一方、農業従事者の減少や高齢化、食料消費の変化や多様化、T P P 等によるグローバル経済の進展など農林業・農山村を取り巻く環境は大きく変化しています。

県では、こうした環境の変化に的確に対応し、農林業・農山村の持続的な発展を図るため、本年 3 月、平成 28 年度からの 5 年間に取り組むべき施策を取りまとめた「埼玉農林業・農山村振興ビジョン」を策定しました。

ビジョンでは、埼玉県の強みを生かし、農林業の「稼ぐ力」、農林業に係わる「人財力」、農山村の「地域力」を高める取組を進めることとしています。

農林業の「稼ぐ力」を高めるため、食品製造業者など需要者からの要望に応えるオーダーメイド型産地の育成や他業種と連携した農産物の高付加価値化、伐採時期を迎えた森林の皆伐・再造林による県産木材の増産と利用拡大などに取り組みます。

また、農林業に係わる「人財力」を高めるため、農業大学校における農業高校との連携強化やキャリア教育による意欲ある新規就農者の確保・育成、農業法人による雇用の促進、女性農業者の経営力向上などに取り組みます。

さらに、農山村の「地域力」を高めるため、観光農園の充実や鉄道会社等と連携した集客力の向上、移住相談窓口の開設による農山村への移住促進などに取り組みます。

こうした取組を通じて、本県農林業の成長産業化と農山村のもつ様々な機能の充実を図り、豊かで安らぎある県民生活の実現を図ってまいります。

この冊子は、埼玉農林業の現在の姿や平成 28 年度の主な施策をグラフや写真を使ってまとめたものです。県民の皆様をはじめ多くの方々の御理解を深めていただく一助となれば幸いです。

平成 28 年 7 月

埼玉県知事 上田清司

目次

1 本県の概要 1

2 全国的にみた埼玉農林業の地位 2

3 本県農林業の構造 3

4 農業生産の現状 7

5 平成 28 年度の主な食料・農林業・農山村施策 13

埼玉県のシンボル



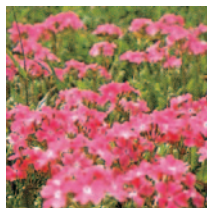
県章



県民の鳥「シラコバト」



県の木「ケヤキ」



県の花「サクラソウ」



県の蝶「ミドリシジミ」



県の魚「ムサシトミヨ」